令和6年度

上半期財政状況と令和5年度決算状況を報告します

皆さんが納めた税金や、国・県からの補助金などがどのように使われたのかをお知らせします。

詳細はQRから確認してください。

問合せ　財政課☎47-6103 FAX35-4567

令和6年度

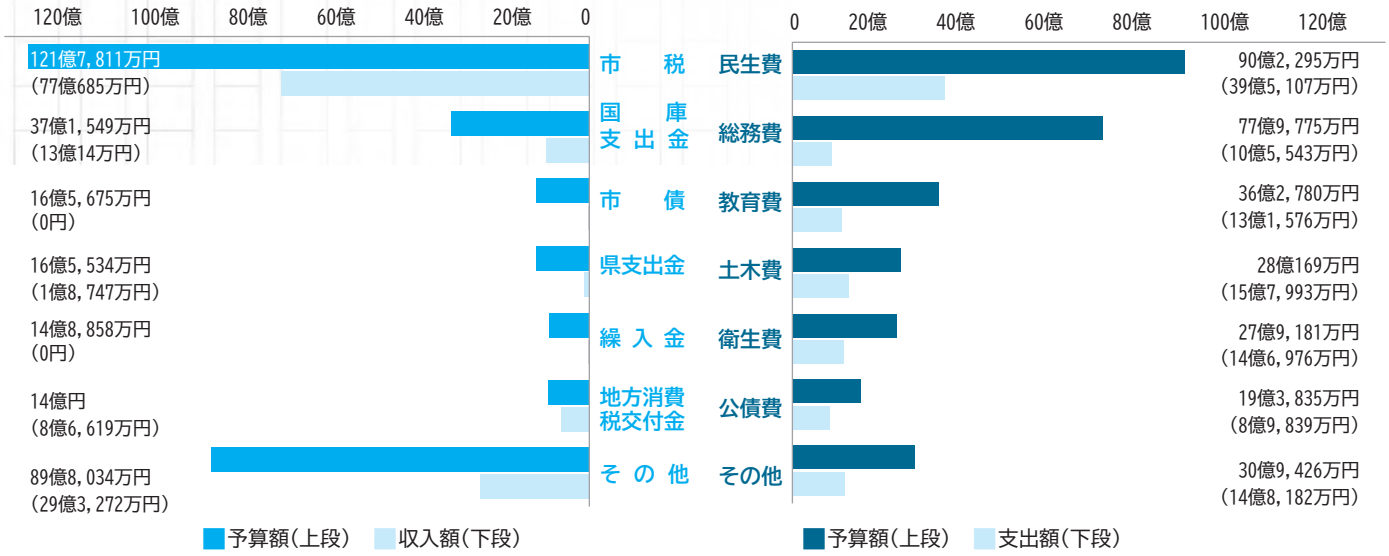
上半期財政状況（令和6年9月30日現在）

一般会計

歳入　収入額　129億9,337万円（執行率　41.8%）

予算額（歳入・歳出ともに）310億7,461万円

歳出　支出額　117億5,216万円（執行率　37.8%）



民生費　子どもやお年寄り、体の不自由な人が安心した生活を送るために使うお金です。

総務費　市役所の全般的な事務に使われるお金です。

教育費　学校や文化活動に使われるお金です。

土木費　道路や公園などをつくったり、修理したりするお金です。

衛生費　ごみの収集や医療・保健など、生活や健康を守るために使うお金です。

公債費　国や金融機関に借りている市の借金を返すためのお金です。

特別会計（特別の目的や利便のために一般会計と区分される会計）

事業名	予算額	収入額	支出額
国民健康保険	50億5,214万円	22億3,288万円	19億8,738万円
後期高齢者医療	10億2,308万円	3億9,925万円	1億8,606万円
介護保険	52億4,639万円	25億7,320万円	21億　908万円
常滑駅周辺土地区画整理	1億2,118万円	4,543万円	5,927万円

市の資産・貯金（基金）

土地		3,887,801㎡
建物		241,928㎡
有価証券		85,888株
基金	現金	78億　310万円
	有価証券	1,590,055株

市債（借入金）

施設建設や用地買収などのために資金を借り入れるものです。

一般会計	256億　8,933万円
常滑駅周辺土地区画整理	3億　8,379万円
下水道事業	155億　7,771万円
水道事業	4億　8,065万円
モーターボート競走事業	0円
病院事業	74億　339万円
合計	495億　3,487万円

企業会計（企業として経済性を発揮しながら運営していく会計）

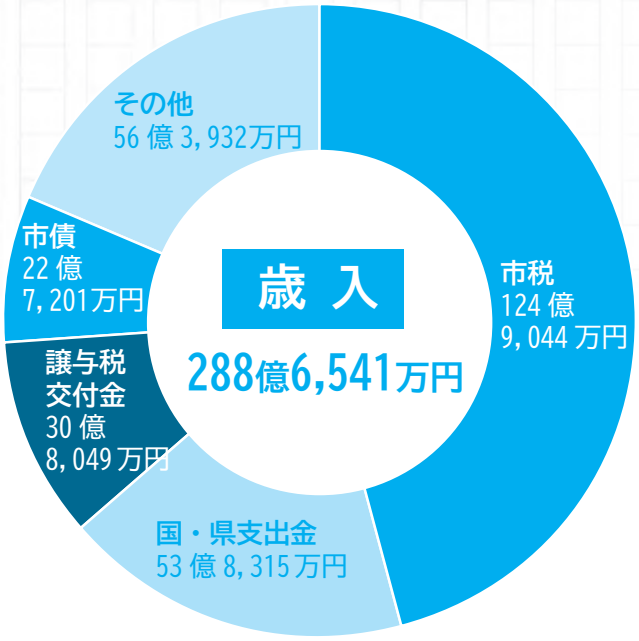
事業名	科目		予算額	執行額
下水道	収益的	収入	26億4,412万円	8億5,685万円
		支出	25億1,401万円	2億4,634万円
	資本的	収入	25億3,139万円	7億2,827万円
		支出	29億6,662万円	2億4,816万円
水道	収益的	収入	15億9,800万円	6億4,442万円
		支出	14億3,600万円	3億8,076万円
	資本的	収入	1億　974万円	2,588万円
		支出	6億　248万円	5,718万円
モータボート競走	収益的	収入	627億4,193万円	321億2,124万円
		支出	602億4,628万円	290億7,947万円
	資本的	収入	0円	0円
		支出	5億8,588万円	4億2,749万円
病院	収益的	収入	80億3,048万円	32億8,837万円
		支出	79億3,798万円	29億8,409万円
	資本的	収入	10億3,317万円	4億　973万円
		支出	13億9,080万円	4億3,213万円

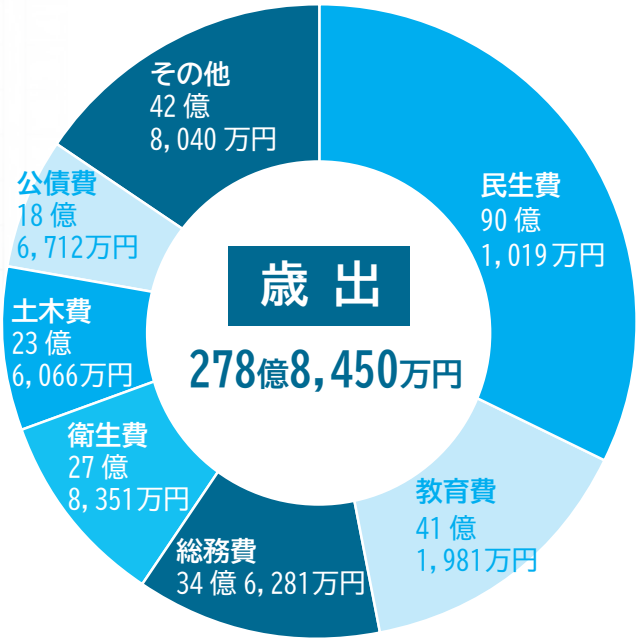
令和5年度 決算状況

一般会計決算

歳入・歳出差額は
9億8,091万円の黒字となりました
※実質収支は
9億4,166万円の黒字です。

子育て支援、防災、経済対策、公共施設の老朽化対策などを着実に進め、
将来を見据えた健全な財政運営に努めました。





令和5年度に実施した主な事業

災害情報伝達システム整備事業(2,100万円)

スマートフォンなどに災害情報をプッシュ型で配信する市公式防災アプリ「とこなめ防災」を導入しました。

新学校給食共同調理場建設事業(9億8,373万円)

老朽化した給食調理場を新築移転するため、新たな調理場の建設工事を行いました。

常滑焼まつり・農業まつり応援クーポン事業(7,673万円)

物価高騰の影響を受ける生活者や事業者を支援し、地産地消を促進するため、クーポン券を配付しました。

ボートレース事業の収益金(6億円)を活用した事業

- 子どもの医療費
- 精神障がい者の医療費
- 民間保育所の運営費
- 市民病院への補助金
- 消防車両などの購入費
- 小学校の校舎工事費
- 小中学校の長寿命化改良工事費
- 中学校の体育施設工事費
- 図書館、文化会館などの運営費
- 保育園給食、学校給食、幼稚園給食の賄材料費（物価高騰分）

特別会計

全会計で黒字となりました

事業名	収入額	支出額	収支差引額
国民健康保険	50億1,942万円	50億　301万円	1,641万円
後期高齢者医療	8億7,341万円	8億6,956万円	384万円
介護保険	51億6,619万円	50億3,659万円	1億2,960万円
常滑駅周辺土地区画整理	1億1,344万円	1億　802万円	541万円

※端数処理の関係で合計が一致しないことがあります。

企業会計

事業名	科目	収入額	支出額
下水道	収益的	26億7,413万円	24億　696万円
	資本的	17億　794万円	18億4,711万円
水道	収益的	15億9,133万円	13億8,058万円
	資本的	1億　693万円	7億　633万円
モーターボート競走	収益的	689億2,346万円	650億1,672万円
	資本的	0円	4億7,506万円
病院	収益的	69億4,039万円	75億8,222万円
	資本的	6億3,478万円	9億　537万円

【下水道・水道事業】

空港およびりんくう地区からの使用料が増加するなど、前年度と比べ増収となり、**黒字**を維持しています。

【モーターボート競走事業】

電話投票会員向けキャンペーンの拡充、G1ダイヤモンドカップなどを開催し、**黒字**となりました。

一般会計へは、計画に基づく4億円の繰出しに加え、利益剰余金から38億円を追加で繰出しました。

【病院事業】

半田病院との連携体制強化や近隣医療機関への紹介依頼などにより、入院患者数が回復しつつあるものの、新型コロナ関連補助金縮小の影響を受け、経常収支は**赤字**となりました。

財政健全度

全ての指標で、国が定める基準を満たしています

健全化判断比率

指標	市の状況	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	12.82%	20.00%
連結実質赤字比率	赤字なし	17.82%	30.00%
実質公債費比率	12.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率	101.2%	350.0%	―

資金不足比率

	市の状況	経営健全化基準
資金不足比率（公営企業会計毎）	4会計とも資金不足なし	下水道・水道・病院事業：20% モーターボート競走事業：0%

用語解説

実質赤字比率
一般会計などの赤字額の大きさ

連結実質赤字比率
全ての会計を含む赤字額の大きさ

実質公債費比率
借金の返済に充てた額の大きさ

将来負担比率
将来負担すべき借金などの大きさ

資金不足比率
経営状態の悪化の度合

今後も「とことん住みたい　世界とつながる　魅力創造都市」を目指し、持続可能なまちづくりに努めていきます。